

## 申し入れ

野洲市長  
山仲善彰 様

2011年3月14日

日本共産党野洲市議会議員団

団長 小菅六雄  
野並享子  
太田健一

日頃、市民福祉の向上へのご尽力に感謝申し上げます。

3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とする大地震が発生しました。地震の規模は観測史上過去最大とされており未曾有の被害となっています。被災された方々に心からのお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々へのご冥福をお祈りします。

さて、被害の現状は、地震で発生した大津波で東北地方の諸県を中心に壊滅的被害を受け、多大な人命が奪われています。さらに、地震発生後、いまなお被害の全体像を把握することが出来ず困難を極めています。一方、東京電力福島原子力発電所では、原子炉燃料棒溶融・水素爆発による建屋破壊、3号機も燃料棒溶融でかつてない危機的状況となっています。

以上、このように日本がこれまで経験したことない危機的事態の中で、政府のみならず、地方自治体と住民一体で対応することが求められています。いま必要なことは人命最優先で、被災者の救出・救援することが必要です。よって、以下の事を申し入れます。

### 記

1. 野洲市として出来る救援対策を直ちに具体化されること。
2. 市民のみなさんから救援の思いが広がっている。この思いが生かされるよう野洲市として受け入れ態勢を取られ広報されること。
3. 今回の地震では、想定を超えた規模の地震とされている。また、原子力発電所の事故は『安全神話』が崩壊するなど、これまでの「防災計画」の域を超えるものと言われている。よって、野洲市防災計画について改めて検証されること。

以上